

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
 E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
 URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 三原慎也
 副 会 長 : 野田三津雄
 幹 事 : 西村 肇
 公共イメージ : 松森 薫
 会報担当者 : 田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウエスト フェリー ロータークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2868 回 令和 6 年 4 月 18 日 第 3 木曜日
 アッセンブリー

<次回の予定>

第 2869 回 令和 6 年 4 月 25 日 第 4 木曜日
 会員卓話 竹内巧治会員
 川嶋成樹会員

<前回の記録>

第 2867 回 令和 6 年 4 月 11 日 木曜日
 会長エレクト卓話 平岩憲政会長エレクト

司 会 進 行	長尾信幸 SAA
点 鐘	三原慎也会長
ソ ン グ	国歌「君が代」・奉仕の理想

情報 の 時 間 野田三津雄クラブ奉仕委員長
 「四つのテスト」唱和

4 月 の お 祝 可児一彦親睦委員長
 会員誕生日

13 日 小笠原正道会員 17 日 前田伊三夫会員
 29 日 森下 光会員

結婚記念日

2 日 三原慎也・早苗ご夫妻
 17 日 村土時男・芳兄ご夫妻
 21 日 河合和也・幸ご夫妻

1 分間スピーチ 河合和也会員



結婚記念日のお祝をありがとうございます。結婚して 17 年になります。毎年こうやってお祝をしていただくので、結婚記念日を思い出します。忘れないで

当日はお祝したいと思えます。ありがとうございました。

出席報告 森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	28 名	8 名	36 名	97.3%

ニ コ B O X 國田大雄ニコ BOX 担当責任者

- ・平岩さん、ご苦労様です。一年間頑張ってください。
三原慎也
- ・平岩さん、卓話宜しくお祈いします。 西村 肇
- ・本日は 3 月 24 日に開催された会長エレクト研修の報告をさせていただきます。宜しくお祈いします。
平岩憲政
- ・私事ですが、郡上市消防団八幡方面隊を 3 月末で退団しました。長いもので 33 年務め、団員のおかげでこなすことができました。ありがとうございました。
野田三津雄
- ・会員誕生日のお祝をありがとう。
小笠原正道・前田伊三夫・森下 光
- ・結婚記念日のお祝をありがとう。
三原慎也・河合和也
- ・会長エレクト卓話、平岩会長エレクト宜しくお祈いします。

廣瀬泰輔・細江洋司・岩尾 誠・可児一彦
 河合 修・國田大雄・松森 薫・水上成樹
 森下 光・村井裕孝・長尾信幸・永瀬和郎
 西川 昇・野田三津雄・大川達也・酒井智義
 坂本 仁・竹内巧治・田中義久・渡邊 剛
 徐 飛・山下友幸

幹 事 報 告 西村 肇幹事

- ・ガバナー事務所より台湾東部地震支援金ご協力のお祈い
 - ・ガバナー事務所よりゴールデンウイーク休暇のお知らせ
 - ・地区事務所よりインターアクト教師部会のご案内
 - ・可児、関、美濃 各 RC より例会変更のご案内
- <拝受>
- ・桑名北 RC より週報

委員会報告

野田三津雄クラブ奉仕委員長

・今月の IDM について

前田伊三夫副幹事

・地区研修・協議会の連絡

会長の時間 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。月曜日によく伏見稲荷にお参りに行ってきました。60歳の厄除けと商売繁盛ということでお参りしたんですが、京都は想像通り、日本人の姿はほとんどなく、外国人が多く見られました。京都へは車で行ったんですが、Google マップで名神高速道路を流しながら見ていたら、多賀サービスエリアのところに新しく ETC のインターチェンジができていて、そこから車で5分ぐらいのところに多賀大社がありました。一昨年ぐらいまで、八幡の中で多賀講というのがあったらしく、うちもそのお札を毎年貰っておりましたが、それもここ2、3年、コロナの影響がなくなったみたいで、お札をもらうことがなかったので、多賀サービスエリアから下りて、初めて多賀大社へ行ってきました。月曜日の平日ということで、非常に空いていました。今、うちの神棚には伏見稲荷と多賀大社のお札があるので、これから商売繁盛で忙しい日が送れたらなと思っております。

平岩さん、今日は宜しくお願ひいたします。

会長エレクト卓話 平岩憲政会長エレクト



皆様、こんにちは。会長エレクト研修の報告をさせていただきます。一番初めに、国際ロータリーの今年度の会長エレクトの、2024-25年度のテーマ講演のご紹介がありました。テーマは「ロータリーのマジック」です。同じく2024-25年度2630地区のガバナーが、名張 RC の亀井喜久雄様で、この方のテーマが「地域にインパクトを」です。共同目標という形でロータリーのビジョン説明がありました。優先事項の1番が、より大きなインパクトをもたらすとして、内容としてはポリオの根絶。それから、ロータリー財団への寄付。金額全般を底上げする。クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査及びプロジェクトとプログラムの測定を推奨する。優先事項2番として、参加者の基盤を広げる。クラブとロータリーの管理の多様性、公平さ。それから、既存の関係を強化してロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを支持する。革新的なクラブと新しい関係を確立し、発展させる。地元と海外の地域社会における、ロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。優先事項3番として、参加者の積極的な関りを促す。会員のニーズに応え、会員維持を高めるために、クラブを支える会員で会員参加のためのツールを充実させる。参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力と繋がりを

強化する。リーダーシップ、スキルを養うために、ロータリーを通じて提供される機会を紹介する。優先事項4番が、適応力を高める。より大きな協力と運営効率を促進するためのアプローチを続行する。ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。以上が次年度のビジョンということでガバナーより説明がございました。それから、地区活動方針がセッションごとに報告、議論されたんですが、ロータリーの活動が地区、国際ロータリーとある中で、各クラブで地域社会調査を実施して、地域社会にとって最も有意義なプロジェクトを再度模索し、実践することを今年度の重点目標として掲げたいというお話が亀井ガバナーからありました。ロータリーのマジックとは何かという話になって、それを中心に説明がありました。1つ目にロータリーのマジックとは、ステファニー会長エレクトが数年前に、ドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝う最中に、浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを現地の2人の少年が見ており、その水を止めた時のことをエレクトは今でも忘れられないというお話でした。この少年の1人がエレクトの袖をつかんで「もう一度魔法を見せて」と言ったことが頭にずっと残っているそうです。「安全な水を簡単に手に入れることが出来れば人生が変わると少年たちは知っていました。私がおの力になれたと知ったことで自分の人生も変わりました。」という体験談の発表がありました。その時に、ロータリークラブとライオンズクラブの違いは何かという話になり、我々のロータリーは職業奉仕で、事例として、例えば水のない地域へ派遣された時、ロータリークラブは井戸を掘り水を浄化して綺麗な水を現地で提供し、ライオンズクラブは出来上がった水を寄付する。そういう基本的な差を理解して、ロータリークラブとライオンズクラブの違いを認識して下さいということでした。2つ目に RI の戦略計画の推進ということで、戦略計画委員会を立ち上げ行動計画の策定。なるべく、会長エレクト、幹事、副幹事、会長で長期プログラムを作成して下さいという話でした。3つ目に、地区方針実践のため地区とクラブの関係強化とクラブの事業活性化ということで、地区委員会、研修セミナー等、地区の行事へのクラブメンバー出席の徹底、クラブ内での出席内容の徹底。これは、例会での発表とか意見交換、研修ビデオ等でクラブ活動の参考とするということです。研修セミナー時のラーニング実践、テーブルディスカッション、グループ内発表と意見の集約、活用等が含まれます。それから、クラブとガバナー補佐、地区委員会委員長、ガバナー事務所との共有。クラブ奉仕作業の成功事例を地区行事内でもリアルタイムで報告し、共有、各クラブ及び地区活動の参考とする。それから、公式訪問での各クラブ取組に対するガバナー、ガバナー補佐との積極的な意見交換。状況により別日程での実施も可ということです。グループ内での他クラブとのクラブ同士の意見交換会。新しいメンバーの奉仕プロジェクトへのアイデアや意見も積極的に取り入れる。各クラブからの地区委員出向の奨励。4つ目、ガバナー懇談会の開催。年6回程度、地区委員長、委員と懇談、意見交換、委員会の情報を横断的に共有する。出席は任意ですが、岐阜、三重、名古屋で2回ずつ開催予定です。5つ目、

会員増強、維持、D.E.Iの推進。D.E.Iとは、ダイバーシティ(多様性)、イクイティ(公平さ)、インクルージョン(包括性)、これらの略です。各クラブの会員増減状況把握、各クラブへの卓話等の働きかけと各クラブの会員増強の必要性の再確認。D.E.Iの推進徹底と各クラブ内での女性会員の増強。特にこれを強く言われました。新クラブ(衛星クラブ含む)の推進。各クラブ2名以上の純増。各クラブのオープン例会開催の実施。これも強く言われました。6つ目に、公共イメージ向上と関連委員会との連携。各クラブ内における情報ツールを活用した公共イメージ向上の推進。クラブへの卓話等の働きかけとツール活用の具体的指導。My Rotaryの登録強化。公共イメージ、会員増強、D.E.Iタイアップの検討。特にMy Rotaryは、その場で登録するくらい、メンバーの働きかけがありました。7つ目、青少年育成の推進と考察。インターアクト、ローターアクト、青少年交換事業の支援。インターアクト、ローターアクトクラブの状況把握と入会の奨励。青少年の社会問題に対する研究と対策。ローターアクトとは、ロータリーとアクションを合わせたもので、18歳以上の人が集まり地域社会のリーダーと意見交換したり、専門的なスキルを育みながら楽しく奉仕活動を実施する組織です。インターアクトは、12歳から18歳までの中学生、高校生のための社会奉仕クラブです。スポンサーロータリークラブの支援(指導・助言・監督)を受けて設立され、「超我の奉仕」を学び、友達と楽しみながら奉仕の精神と国際感覚を養っています。8つ目に、奉仕プロジェクトの推進とクラブへの理解と意見交換。国際奉仕への各クラブの理解と意見交換。世界社会奉仕(WCS)補助金活用の推進。社会奉仕プロジェクトの地区とクラブの情報交換。青少年奉仕の再構築。9つ目、ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解。これは毎年言われていることですが、地区補助金、全クラブの活用と活用による地域活性化の考察。年次寄付が150ドル以上、ポリオ寄付が30ドル以上。これは各1人の目標です。恒久基金が1クラブ1000ドル以上。グローバル補助金の積極的活用。奉仕プロジェクト部門との連携。この辺りは時間を取って説明がありました。10番目、米山奨学事業への参加と支援。奨学生支援は、以前に私がカウンセラーをして受け入れをした実績があります。寄付の推進として1人12000円以上の依頼がありました。11番目、職業奉仕の精神についての再認識。クラブや若いメンバーが参加する研修セミナーにおけるラーニングの実践、卓話等でロータリーの目的に対する理解の深化。例会の重視。研修セミナーのクラブ内での活用強化。あと、会長エレクトのセッションでは、クラブ運営・例会についてということで、クラブ運営の要は「例会」ということを強調されていました。特に、米山梅吉の「例会は人生の道場」という言葉について長い時間をかけて説明がありました。親睦と学びはロータリーの基盤であり、その親睦と学びの場が例会である。魅力的で価値ある例会を実施する。会員同士が交流し経験を語り合い、誠実な人柄に触れ真実の友情を育む場。ロータリーの本質、ロータリーの基本を学ぶ場。奉仕の心を学び理解し、奉仕の実践の意欲が沸き上がる場。以上のような例会作りを求めておられました。

それから、クラブ会長と幹事の責務なんですが、出席率

＝会長の支持率と言われたんですが、出席率が悪いのは会長が悪いということになりますので、皆様ご協力をお願いいたします。そして、クラブの将来像、長期目標、ビジョンを描く、夢を語る。学びの場として魅力ある例会の設営、今日も来てよかったと思える例会、心を癒すオアシス的な例会。会長挨拶は会長の特権であり、貴重な時間でもある。時候の挨拶、時事ネタだけでなくロータリーの情報を適度に入れる。会員同士の親睦に力を入れてほしい。親睦はロータリーの1丁目1番地。これも強く言われました。幹事は執行部門の代表者、実務上の権限と責任を持つクラブの要である、ということで、実行権はほとんど幹事にあるということです。

またこれから亀井ガバナーが各クラブを訪問されると思いますが、地域にインパクトを、ということを強調しておられました。「近年、地域社会の中でロータリーのアイデンティティが失われつつあると感じるのは私だけでしょうか。地域社会の中から支持されるような活動をするには、少子高齢化、若者の貧困化等、その目まぐるしく変わる社会状況の中で、地域の調査研究、情報の収集は勿論ですが、奉仕のアイデアを考える我々メンバーの幅広い知識とスキル、国際的見地を生かした運動、河川清掃等のクリーン活動、緑化運動、子供たちへの体験学習等にプラスして、地域の中で持続可能でより社会のニーズとして即した大きなインパクトをもたらすアイデアを、ぜひ本年度から捻出、実践して頂くことを熱望します。限られた時間、予算の中で最大限その効果を上げるには、平等に分配するという発想でなく対象の目的に集中していく方法で、一つでも多くの成功事例を作り上げ、それが地域に普及していくことを期待します。世界社会奉仕補助金の活用も是非視野に入れて下さい。」ということで、重点項目について細かく説明していただきました。「ガバナー就任にあたり地区経験のない私ですが、わが地区の各委員会が委員長の高い目的意識の元、活発化・活性化している喜ばしい現実を目の当たりにしました。モチベーションは高くその活動内容は日を追うごとに深化しているようにも見えます。私がガバナーとしてこの地区方針を通して言いたかったことの1つは、各地域におけるロータリークラブのアイデンティティの確立には、ロータリー組織上最大メリットの1つである、地区のノウハウを各クラブのメンバー全員が享受できるということ、地域においても国際的見地は切り離せない。」ということで、今一度見直しながら、日常生活、例会及び自分の職業奉仕を見つめて下さいというお話でした。

7月から皆さん、宜しく願いいたします。